（参考：第９条関係）

**記入例**

和暦を記入

医療的ケア実施に係る保育日課（デイリープログラム）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 児童名 | **幼保　太郎** | 男女 | 年齢 | **３** 歳児 | 生年月日 | **令和●**年**６**月　**１**日生 |
| 歳児を記入 |
| 時　間 | 保育内容 | 医療的ケアの内容と所要時間 | 留意事項等 |
| **９：００****１１：００**なぜ看護師による介助が必要なのか、具体的に記入する。**１３：００****１５：００****１７：００** | **登園****給食****午睡****おやつ****降園** | **経管栄養物品、酸素吸入物品、吸引物品等の持参品の****確認（１５分）****保護者からの体調の聞き取り　（１０分）****・酸素飽和度チェック、必要時体温測定****・酸素ボンベ、経鼻カニューレの装着確認****（酸素流量、酸素ボンベ残量、固定位置等）****・経鼻栄養カテーテル挿入位置の確認****保育中の酸素吸入管理・呼吸状態、てんかん症状の有無の観察（６０分）****食事介助（２０分）****・嚥下が弱く、誤嚥や嘔気、嘔吐に注意する必要が****ある。****・嘔気やむせ込みが強い場合は、注入に切り替える。****経管栄養の準備（２０分）****経鼻カニューレ挿入位置の確認（６０分）****・注入食(エネーボ)200ml約１時間で注入****・注入中の観察(呼吸状態、腹部症状の有無、****チューブの挿入位置の確認)、酸素吸入管理****注入終了後後片付け・記録（２０分）****午睡中の呼吸管理、酸素吸入管理（６０分）****・けいれん発作が起こりやすい入眠時及び覚醒前の****各３０分は看護師が見守る。****おやつ摂取の介助（４０分）****・給食の対応に同じ。摂取状況により、注入に切り****替える。****保育中の酸素吸入管理・呼吸状態、てんかん症状の有無の観察（６０分）****保護者への報告、持参物品の返却、記録（１５分）** | **※　１０分毎に、酸素飽和度及び様子を確認。必要時、吸引。****※　座位保持椅子は約６０度とする。****※　口腔、鼻腔内に****栄養カテーテルの先端が出てきていないか、テープの固定などに注意。****※　午睡中の５分毎の観察は、保育士と連携するため、医ケア時間に含まない。****※　１０分毎に、酸素飽和度及び様子を確認。必要時、吸引。** |
| 保育の総時間　**８**時間**００**分 | 医療的ケアの総時間　**６**時間**２０**分 |
| 備　考**一点凝視等の微細発作が保育時間中に２～３回見られるため、適宜様子観察や意識レベルの確認している。****また、月に１回程度チアノーゼを伴うてんかん発作が起きることがあり、昨年度は園から２回救急搬送された。****発作時は、指示書に従い、酸素投与と座薬の挿肛を行う。** |

（**令和●**年**３**月**３０**日作成）

てんかん発作等の頻度、発生時の対応等を記入する。